

授業科目(ナンバリング)	日本文化論 (CA219)			担当教員	山内 美穂・内田 智子		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	2 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブラーニングの類型
<p>観光の研究にとって、さまざまな国や地域の異なる文化についての理解は不可欠である。しかし、そこに生を享けた、あるいは今そこで生きている、日本の文化に関する理解なくしては、異文化に対するまなざしは開けない。日本文化固有の魅力、あるいはまた他の文化と共通する側面や限界など、さまざまな角度から日本文化の多様で独自なあり方に迫っていくとき、日本文化のなかで生きる自分自身のアイデンティティも確認されてくることになるであろう。</p> <p>この授業では、歴史、言語、文化などの具体的な事例を通して、日本文化の諸相について論じる。</p>							①②④⑤
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力							
情報収集、分析力	日本文化の具体的事例を収集し、分析することができる。				レポート	40%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力							
多様性理解力	日本文化と他の文化のちがいを説明することができる。				定期試験	60%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>レポートで40%、定期試験で60%を評価する。 レポートに関しては授業中及び個別にフィードバックを行う。</p>							
授業の概要							
<p>2名の教員によるオムニバス形式の講義をおこなう。各教員の専門分野に関する方法論と事例にもとづき、日本文化の魅力と問題点を多角的に考察する。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：特に指定しない。 参考書：授業中に適宜紹介する 指定図書：李御寧『「縮み」志向の日本人』講談社学術文庫</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>日本文化を理解することは異文化理解の第一歩であり、観光学を学ぶ上でも不可欠の課題である。教員の提示するそれぞれの視点と方法論、さらには取り上げる事例を通して、日本文化の多様で独自なあり方に触れて欲しい。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	導入	日本文化論の代表的なアプローチを紹介するとともに、講義全体の概要について説明する。(内田)	日本文化の特徴を考えておく(予習)
2	日本の年中行事	日本の年中行事について、それぞれの行事が持つ意味を考える。(内田)	年中行事をまとめておく(予習)
3	日本人と文字	日本の文字の種類と歴史を概観し、日本語の表記の特徴を解説するとともに、日本語文字文化の独自性について考察する。(内田)	日本文化の独自性についてのレポート作成
4	日本人と和歌	和歌は、日本文学の中で大きな役割を担ってきた。和歌の歴史や文化から、日本人の考え方を探る。(内田)	和歌の歴史を復習
5	学校文法と日本語教育文法	日本人が学校で学ぶ文法と、日本語教育の文法の違いを解説し、日本語に対する理解を深める。(内田)	日本語教育文法を復習
6	蘭学者・オランダ通詞たちの外国語学習	江戸時代の長崎は、外国との唯一の窓だった。蘭学者やオランダ通詞たちのオランダ語学習法を解説する。(内田)	「長崎と外国」というテーマでレポート作成
7	ローマ字論争	ローマ字には、ヘボン式と日本式がある。それぞれの特徴と、近代に行われたローマ字論争について解説し、言語文化の本質を考える。(内田)	ローマ字の役割と、ヘボン式ローマ字を調べておく(予習)
8	日本人の美意識	日本人は独特の美意識を持つとされている。言葉と美術の面から日本人の美意識について考える。(内田)	日本文化の中で「美」を感じるものを収集しておく(予習)
9	外来語と日本文化の変換	西洋文化の摂取に急いだ明治期の日本文化の特徴を外来語や和製漢語から解説するとともに、現代の外来語の氾濫についても考える。(山内)	外来語と和製漢語を抽出しておく(予習)。
10	「縮み」志向と日本人	独特の視点で書かれた日本文化論・李御寧『「縮み」志向の日本人』(1982)に触れ、コンパクトなものを志向する日本文化について議論・考察する。(山内)	授業の中で紹介する日本文化論の書籍の中から1冊を読み、それに対する自身の考えをまとめレポートを作成する。
11	日本の話芸「落語」	日本の代表的な話芸・落語の歴史を解説し、現在の落語文化を紹介。落語の「オチ」や大喜利などを通して、日本人の「ことば」の楽しみ方を考察する。(山内)	落語の演目を見たり、聞いたりする(復習)
12	俳句と川柳と日本社会	日本の定型詩である俳句と川柳について解説。その違いを知り、現代の俳句文化と川柳文化について理解を深める。(山内)	川柳を詠んでみる(復習)
13	日本の漫画	漫画のルーツ「戯画」から話を起こし、風刺画と外国の影響、そしてストーリー漫画に至る漫画の歴史について解説。さらに、現代日本の漫画文化について考える。(山内)	海外での日本の漫画文化について調べておく(予習)
14	アニメとクールジャパン	国際的にも高く評価されている日本のアニメ。アニメの歴史や現在のアニメ文化に触れ、日本のアニメの世界との接点について議論・考察する。(山内)	「クールジャパンと日本」というテーマでレポート作成
15	まとめ	いくつかの日本文化論の概説書を通して、日本文化の理解と異文化理解との関係について触れながら、日本文化論の課題を考察する。(山内)	試験準備
16	定期試験		